～宮大生のための交換留学～

韓国・嶺南大学　留学報告

教育文化学部　学校教育課程　中学校教育コース　理科専攻　4 年　（山本卓磨）

〇留学先:（韓国・大邱）・（嶺南大学・師範学部）

〇留学期間:2013 年 3 月～2014 年 3 月(前期 3 月～6 月下旬、後期 9 月～12 月下旬)

〇渡航時の学年:　　3 年次

〇渡日前の手続について

・留学に至った経緯について:

宮崎大学は「異文化交流体験学習」というプログラムを開講していて、これは宮崎大学と提携を結ぶ海外の大学に在学する学生と交流し、異文化への理解を深めようというプログラムです。自分は当時 K-POP が異常に好きだったことと、交流するだけで(レポートは書かなければならないですが)単位がもらえるというような、本当に簡単な理由で、韓国を対象とする異文化交流体験学習に参加しました。自分が参加したときは嶺南大学の学生方との交流でした。自分は 1 週間、かなり彼らと一緒に行動していて、いろんな意思疎通を日本語や英語で行っていました。夜に彼らが宿泊している施設に行ってみんなでお酒を飲んだりもしました。そうこうしている内に、違う文化を持った人たちと関わることの楽しさというのに気づき、もっと彼らと交流していたい、ならもういっそのこと留学してしまえばいいのではないかと思ったことが留学を決めるきっかけでした。

・大学での手続について:

留学先の学校に提出するものについて説明します。交換留学生申請書、学習計画書、国際部の推薦書、成績証明書、在学証明書、写真 3 枚、パスポートのコピーを提出する必要があります。交換留学生申請書には、自分の情報や留学先で何を専攻するか、英語、韓国語がどれだけ使えるかの自己申告、緊急連絡先、そしてミールプランといって学期中に寮の学食で 1 日 3 食取れるプランをとるかとらないかを書類に書き込みます。学習計画書には、自分は留学先でどうやって学習を行うのか、その計画を英語もしくは韓国語で書きます。国際部の推薦書は国際連携センターから提出されます。成績証明書と在学証明書に関しては宮崎大学の学食の前に設置されている ATM 機の向かい側にある発行機から発行しました。ただし、英語で発行しまければなりません。また、パスポートは申請してから発行するまでに最低でも 1 週間かかるので、計画的に準備しておく必要があります。自分は 2013 年の 3 月から入学予定だったので、提出の締切りが 2011 年 12 月 2 日と結構早い締切りでした。ですから、留学することも早めに決めて、担当者と連絡を取り合っておくのが最善です。

・査証取得:

12 月末に留学先から入学許可証が送られてくるので、それから留学 VISA の申請を行いました。というのも、留学 VISA を申請するときにはその入学許可証が必要だからです。留学 VISA 申請に必要なものとしては、その入学許可証に加えて学生証明証のコピー、パスポート、証明写真、VISA 発行申請書、残高証明書が必要です。自分は宮交観光の旅行会社に代理で VISA 申請を行ってもらいました。注意するのは残高証明証です。自己名義の口座に

100 万円以上の預金があるということを証明しなければ、申請の許可が下りませんでした。ちなみにですが、留学 VISA の申請の代行手続きは宮交観光と JTB が可能だった覚えがあります。HIS は観光 VISA のみ代行可能でした。

・海外保険：

保険には色んな種類があって、保証によって金額も違います。自分は契約期間が 2013 年の 3 月 2 日から 2014 年の 3 月 1 日まで、約 1 年間の保険に入りました。保険会社は「あいおい損保」で、金額は 16 万 6130 円とかなり高額でした。しかし高額であるほど安心ということで自分はそちらの方を選びました。内訳は参考資料に載せておりますのでご覧下さい。備考ですが、申請から発行まで 9 日くらいかかりました。

・クレジットカード：

自分は日本にある口座から韓国に新しく作る口座に送金してお金を確保するという方法を取らずに、クレジットカードを使ってお金を確保する方法をとりました。送金はクレジットカードを使うよりも割高だからです。自分は VISA のついた親名義の家族カードというクレジットカードを持って行きました。家族カードとは、親名義ではあるけど、家族の他の人間もキャッシングできるというカードです。自己名義のカードを持って行かなかったのは、自己名義のカードだと自分の収入が少ないため、引き出せる限度額が低いからです。引き出せる限度額が低いと、どういった問題が起こるか。例えば、自己名義のカードで引き出せる限度額が 10 万円で、留学先の寮費が 15 万円かかるとすると、残りの 5 万円を引き下ろせず、どこかから調達しないといけなくなります。最悪お金が調達できなかったら寮にも住めません。だから親名義の家族カードを持っていくことにしました。実際、自分はカードを使ってお金をおろしたときは、すぐに親に連絡して、親が利子が高くつく前にキャッシング先にお金を一括で入金するという風にしていました。

〇留学体験記：

・嶺南大学へのアクセス方法：

渡韓するときの方法としては船で行くか、飛行機で行くかに分かれますが、自分は船で行きました。宮崎から福岡に家族と一緒に行って、一泊したあとに博多港国際ターミナルから釜山国際旅客ターミナルに向けて、高速船 BEETLE に乗りました。<u>高速船の乗船費用は **15,000 円**</u>でした。そこから約 3 時間かけて韓国にわたります。海が荒れていてかなり揺れたので、船酔いする人が非常に多かったです。酔いやすい人は絶対に酔い止めを持っていくべきです。到着後、入国審査などが終わったあと、バスかもしくはタクシーに乗って電車の通る釜山駅に行かなければなりません。自分の場合は前年度まで釜山から宮崎大学に来ていた留学生と仲が良かったため、迎えに来てもらい、そこから一緒にバスに乗って釜山駅まで連れて行ってもらいました。ついでに釜山駅から目的地である東大邱駅までのチケットを買うことも手伝ってもらえました。あまり韓国語も話せなくて、初めてひとりで海外にわたるということだったので、海外、現地につながりがあったというのは非常に心強かったです。みなさんもできることなら、今来ている留学生と交流して、つながりを作っておくべきだと思います。釜山駅から 1 時間ほどで東大邱駅に到着しますが、ターミナルの出口がいくつかあり、そのうちのどこかに嶺南大学の学生がお出迎えに来てくれています。そこからはその学生がタクシーで大学まで連れて行ってくれます。タクシー代もあちら持ちでした。というのも、迎えに来てくれる学生は彼らの学校の組織の一員で、学校側が彼らを派遣してピックアップをしてくれています。

飛行機で行く場合詳しくは知りませんが、大邱空港に到着できれば、そこから直接大学まで送ってくれるらしいです。ただ宮崎からは大邱空港に飛行機が出ていません。

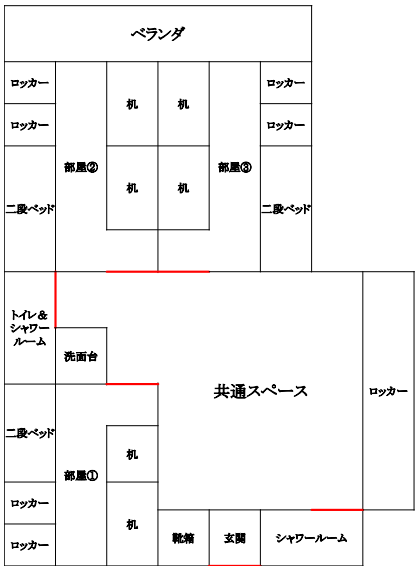
・キャンパス紹介：

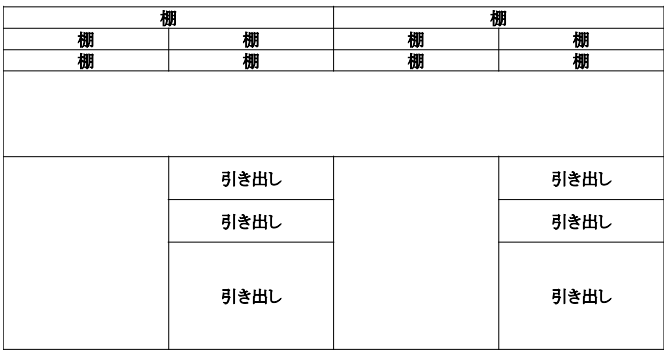
嶺南大学は、大邱という韓国で 4、5 番目くらいに賑やかな場所に位置する私立の大学です。大邱といえば何年か前に世界陸上がありました。この大学は、韓国国内でも有数の巨大敷地を誇こる大学です。寮から正門まで歩いて大体 15～20 分くらいかかります。かなり広いです。もし嶺南大学に行くことになったら、毎日ジョギングできて健康的な生活が送れます。嶺南大学には文学部、理学部、工学部、法学部、政治行政学部、商経学部、医学部、薬学部、自然資源学部、生活科学部、師範学部、造形学部、音楽学部、繊維ファッション学部、生命工学学部、チャイナビジネス学部、夜間講座、教養学部といったように豊富な学部が揃っております。自分は師範学部という日本でいう教育学部に配属されました。

・寮：

寮はセキュリティーがしっかりしていて、寮の玄関も顔認証のシステムが備え付けられています。顔が認証されないと門が開きません。外国人専用の寮は男女が同じ棟に住むことになります。1、2 階は男子、3～5 階は女子というように分けられています。また、男女間での問題が出ないように 3～5 階には女子しか入れないように、各階の入口に顔認証のシステムが備え付けられています。部屋はどうなっているかというと、下の図ようになっています。玄関は顔認証ではなく、暗号認証です。4 つの数字をいれるとドアが開きます。部屋の中に入ると、まず共有スペースがでてきます。ここではその部屋に住む友達と一緒にご飯を食べたりできます。そして、共有スペースには 3 つドアがあって、それが自分たちの生活スペースにつながっています。1 部屋に 2 人ずつ住むことになります。1 つの部屋に 3 部屋あるので、結果 6 人で住むことになります。ここで一つ注意すべきことは、奥の 2 部屋にはベランダがあって服を干すことができるのですが、廊下側の部屋にはベランダがないので洗濯物を干すための紐か何かを持っていくことをおすすめします。机も下図ようになっています。机が 2 つあって、1 人 1 個ずつ使うことになります。棚が図を見ると少し小さいように見えますが、実際は高さがもっとあって A5 サイズの本が余裕で収納できます。

話は変わりますが、男子が女子の部屋に、また女子が男子の部屋に入ることは禁止されています。見つかれば罰点が与えられて、ある点数を超えると強制退寮ということになっています。本大学の場合、寮以外での住居は許されていないので、結果日本に帰らなければいけなくなります。他にも罰点の対象になることがあります。寮は門限が 11 時で帰ってくるのが遅れると正門も閉まっていて入れませんし、罰点の対象にされます。外泊するときは事前にネットで申請すれば問題ありませんが 1 ヶ月に何回と規制されています。他には寮内でお酒を飲んでも罰点です。そして一番危ないのは寮内での調理です。寮内で料理はできません。ですから自炊はできません。見つかった場合、1 発で退寮です。気をつけてください。





・講義の受け方：

外国人留学生に対して講義一覧のプリントが配られますが、講義内容の説明もほとんどが英語で書かれています。そして授業自体も英語で行われるのがほとんどです。また、その紙にはこの授業が何単位出るのか書かれていて、選んだ講義の合計単位数がある一定上にならないといけないという決まりがあります。自分の時は 15 単位以上 18 単位以下でした。ここで注意すべき点は、本大学は語学留学を目的として学生を受け取っているのではなく、あくまで交換留学生として学生を受け取っています。つまり、韓国語を学びに行くのではなく、韓国語や英語で専門的な講義を受けに行くということです。自分も最初勘違いしていて、こんなはずではとおもいました。その面は理解しておいてください。ただ、韓国語を学びたいという意欲を先生たちも無下にはしません。学校の授業が終わったあと夜に韓国語の特別講義というのがあります。お金を払って受けることになりますが、いろんな国の人と韓国語を学べます。これは受けるべきだなとおもいます。

・資金面：

まず、VISA を作るのにお金がかかりました。自分の場合、旅行会社に代行してもらったのでその分の費用もかかりました。VISA の実費が 3780 円に加えて、代行手続き 6300 円と旅行取扱手数料 4200 円の合計 14280 円が VISA 関係の費用です。海外保険は安いものから高いものまでありましたが、やはり高いものほど保証がいいということで、166,130 円の保険に入りました。渡航費は、自分は船で渡韓したので、比較的安く抑えることができました。乗船料 13000 円だったのですが、それに加えて燃油特別付加運賃、俗に言うチャージ代が 1500 円と港利用料 500 円の合計 15000 円でした。寮費と食費はそれぞれ 1 ヶ月 16000 円、17500 円と書いてありますが、注意して欲しいことがあります。寮費、食費というのは 1 学期分まとめて払います。ですから、渡韓してすぐに約 12 万円が寮費、食費で消えます。ここでまた注意して欲しいのは、韓国で講座を作ってその口座に送金してもらって資金を調達しようと思っても、1 ヶ月間はそれができないということです。なぜかといいますと、口座を作るために外国人登録証が必要なのですが、その外国人登録証が申請してから出来上がるまでに 3 週間から 1 ヶ月かかるからです。ですからクレジットカードをもって行くか、現金をある程度もって行く必要があります。これは本当に気をつけて欲しいです。

・アルバイト：

韓国では学生 VISA でもアルバイトをすることができます。ただ、6 ヶ月(1 学期)以上の修学がないとアルバイトをする許可がおりません。また学校がある日、つまり学期中は 1 週間に 20 時間迄と決められています。しかし、長期休暇、例えば夏休み、冬休み中は無制限でアルバイトをすることができます。自分も、長期休暇中に 1 日 12 時間、週 6 日でアルバイトしていました。

・余暇の楽しみ：

本大学の前には呑み屋さんが非常に多かったので、毎晩のように韓国人の友達と一緒に呑みに行っていました。しかも、あのサムギョプサルが 1 人前たった 350 円くらいで食べることができます。自分は毎日のようにお肉も食べていました。また、自分はアルバイトもしていたので、旅行にもたくさん行きました。やはり韓国に住んでいるときにこそ、日本から行くよりは安くで、いろいろな場所に遊びに行けるので、みなさんにもたくさん旅行には行ってほしいです。

・留学で培ったもの：

留学は本当に楽しいです。でも決して楽しいことばかりではありません。苦しくて苦しくて仕方がない、早くこの状況から解放されたい、そういう時期が必ずやってきます。でも一人です。家族も傍にいません、いつもなら相談できる友達とも直接会って話すこともできません。孤独です。でもひとりでどうにかしなければならないんです。もがいてもがいてもがくしかないんです。でも皆さんにこれだけはしっていてほしい。そういう苦しい時こそ、人間は大きく成長できるチャンスに巡り合っているんです。だからぜひそういった苦しいことから目を背けずに向き合って欲しい、戦って欲しいと思っています。壁を乗り越えたとき人は確固たる自信というのを得ます。そしてその自信がこれから先の自分の行動、考え、視野というのをかえることになります。変わった結果、これから先自分が何をして生きていきたいのか、何をして生きていくべきなのか、いわゆる夢というのが自ずと見えてくると自分は信じています。皆さんにも留学を体験していただいて、もう一度自分の夢というのを持って、そして夢に向かってひたすら努力していってほしい。そう思います。

〇帰国後について

・派遣先で単位を取得しましたか？（　しなかった　）

・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？（　されなかった　）

〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

何をするにも、早めに前もって行動する事が一番です。ギリギリになって行動すれば様々なミスを起こしてしまいます。長期の留学で、しかも親戚のいないところでのミスは非常に厳しい事態を招くことがあります。ですから、本当に早めに前もって行動することをおすすめします。